

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		職員福利厚生事業費 [職員互助会補助事業]						
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費	事業番号 5	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	職員課		課 研修厚生		係	課長名	矢吹 勇一	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現					総合計画書(ページ)	122		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	正規職員・再任用職員			正規職員・再任用職員の数				
	→							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
地方公務員法第42条「地方公共団体は、職員の保健、元気回復その他厚生に関する事項について計画を樹立し、これを実施しなければならない。」に基づき、職員を元気回復する。			職員互助会実施事業のうち補助金による福利厚生事業を利用した延べ件数					
→								
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
職員互助会に対して、職員数に単価を乗じた補助金を交付した。			職員1人当たり8400円の補助金を交付した。					
職員互助会は、市から交付を受けた補助金、職員からの会費その他収入にて職員への福利厚生事業を行った。			8400円×500人=4,200,000円 → (特別会計分を含む)					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
	対象指標	①の数値	人	512	506	500		
	成果指標	②の数値	件	548	651	673		
	目 標	②の目標値				500	500	500
		目標値設定の考え方 全職員が福利厚生事業を少なくとも1回利用する。						
活動指標	③の数値	円	4,300,800	4,250,400	4,200,000			
3 経費	事業費(実績)		円	4,300,800	4,250,400	3,847,200	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	4,300,800	4,250,400	3,847,200		
		特定財源	円					
		(うち受益者負担)	円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1		
		所要人数(再任用)	人					
		職員人件費(再任用以外)	円	825,300	824,400	831,000		
職員人件費(再任用)	円							
事業費+人件費		円	5,126,100	5,074,800	4,678,200			
4 環境変化等	(1) 開始年度	平成5 年度						
	(2) 環境の変化	地方公務員法第42条「地方公共団体は、職員の保健、元気回復その他厚生に関する事項について計画を樹立し、これを実施しなければならない。」に基づき義務として実施している福利厚生業務。 平成5年度から職員互助会を条例化している。						

